



第6回地域フォーラム
奈良県下北山村
下北山村発展ビジョン

令和元年9月16日
下北山村長 南 正文

森と生きる
森に遊ぶ
森で育む
きなりの郷 下北山



人口の推移

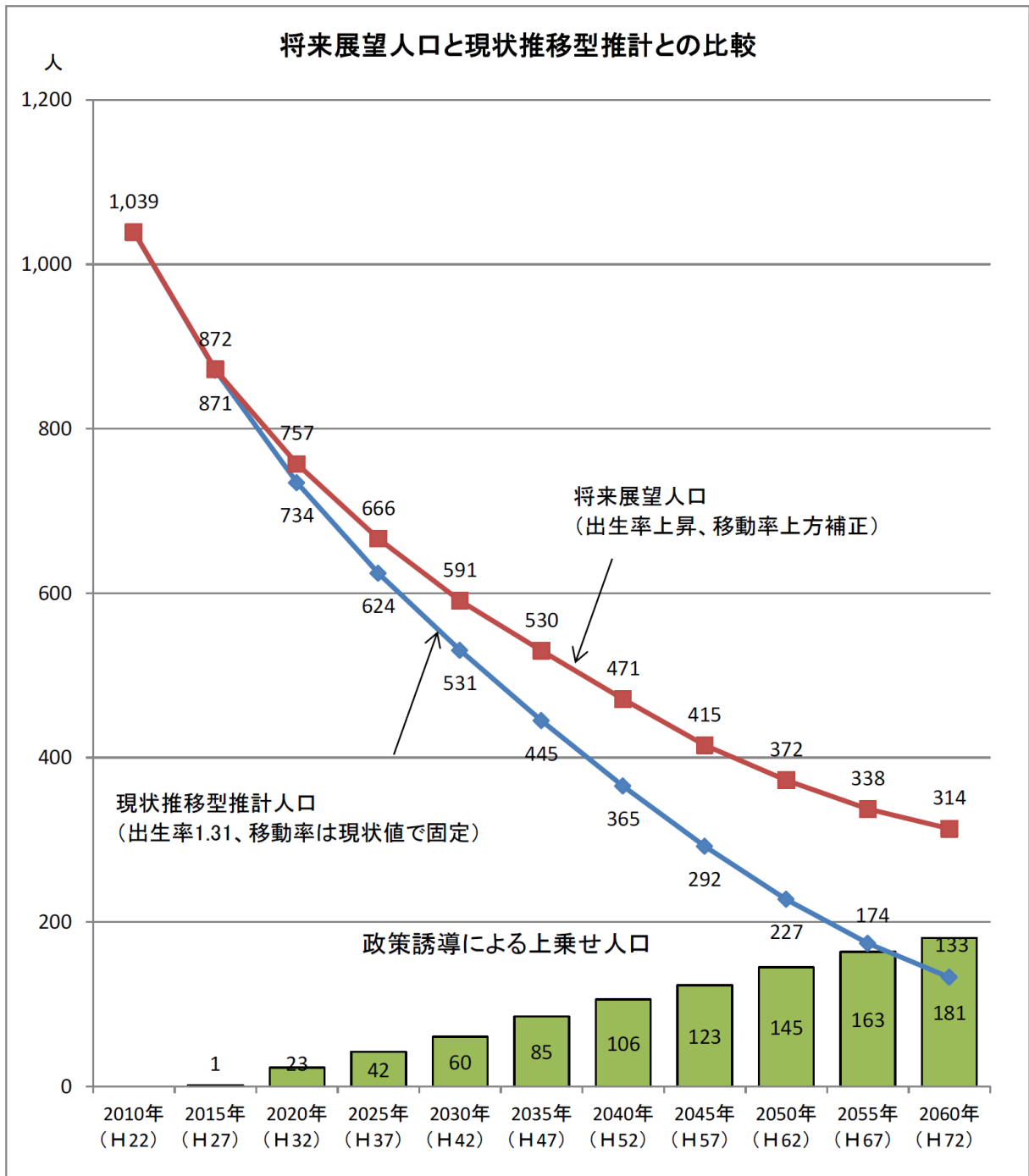
○現状維持では・・・
2040年には365人
2060年には133人

○総合戦略による施策を実施
すれば・・・
2040年には471人
2060年には314人

○政策誘導による効果
181人の上乗せ人口

下北山村地方創生総合戦略に 基づく施策推進

「下北山村人口ビジョン」(平成27年10月策定)
より



下北山村地方創生総合戦略

◆基本目標 1

～森と生きる 仕事づくり、ものづくり、ひとづくり～

○新たな林業経営の調査研究

- 遊休農地の活用と就農者の創出
- きなりの郷ブランドの研究・開発
- 起業・就業支援体制の充実
- 地域内消費の喚起



◆基本目標 2

～森に遊ぶ もてなし、ふれあい、感動づくり～

○交流人口の拡大

- きめ細やかななおもてなし体制
- 新しい観光資源をつくる



◆基本目標 3

～森で育む 子どもの笑顔と きなりライフ～

○定住・転入の促進

- 結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援
- 暮らしやすい安心できる村づくり



新たな林業経営の調査研究

○地域おこし協力隊を活用した自伐型林業をモデルに実施。
○休止していた製材所を再稼働し、村内の森林資源を活用し、林業の6次産業化を図る。

下北山村
自伐型林業



2018年4月に再稼働した村内の林産加工施設（製材所） ↑



自伐型林業を実施する地域おこし協力隊 ↑

交流人口の拡大 (下北山スポーツ公園を核とした地域振興)

◆アウトドア

- キャンプ予約サイト「なっぷ」によるキャンプ予約件数、西日本 No 1 を獲得。(2017年~2018年)
- 冬キャンプ利用者をターゲットにしたプロモーション。



池原ダム堰堤から見下ろしたスポーツ公園↑



2年連続でキャンプ予約サイト西日本1位を獲得↑ JAF関西オートキャンプフェスタ(2018.9.1)↑

交流人口の拡大 (下北山スポーツ公園を核とした地域振興)

◆スポーツ

- サッカーの聖地として、サッカー合宿の推進。
- スポーツ合宿の場として、年中利用者が絶えないようなコンテンツづくり、設備機能の向上。



↑女子サッカーきなりカップ
(2018.11. 10~11)



↑人工芝でサッカーの練習試合に
励む選手たち



定住・転入の促進 (移住・定住増加に向けての取組み)

地域との関わり度

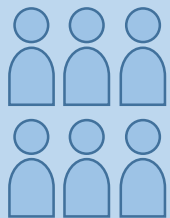
◆観光施策

- 地域資源を活用したイベントの実施
- 特産品のブランド化、PR

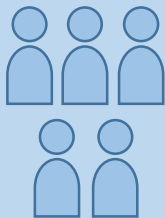
等

一時的な来村者
(観光客等)

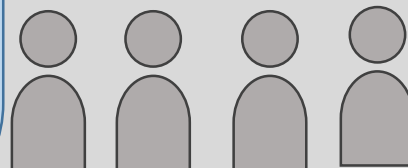
リピーター



観光人口



- ・村へ定期的に訪問する人(過去に勤務・滞在していた人、何らかの関わりを持っている人等)
- ・村にルーツがある人
- ・地域づくり関心層

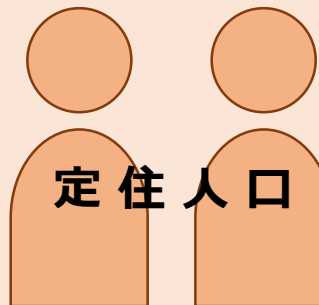


◆移住・定住施策

- 住宅の新築・増築支援
- 空き家の取得、改修支援
- 賃貸住宅の家賃助成
- 起業支援金

等

移住・定住者(村民含む)



定住人口

定住・転入の促進 (関係人口の重要性)

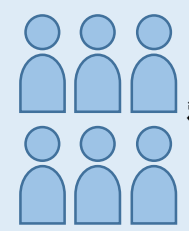
地域との関わり度

◆観光施策

- 地域資源を活用したイベントの実施
 - 特産品のブランド化、PR
- 等

一時的な来村者
(観光客等)

リピーター



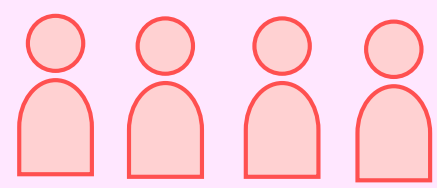
観光人口

◆関係人口施策

for

- ・村へ定期的に訪問する人
(過去に勤務・滞在していた人、何らかの関わりを持っている人等)
 - ・村にルーツがある人
 - ・地域づくり関心層
- 等

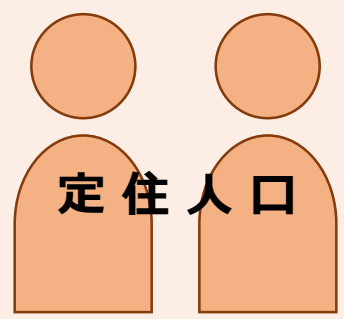
関係人口



移住・定住施策

- 住宅の新築・増築支援
 - 空き家の取得、改修支援
 - 賃貸住宅の家賃助成
 - 起業支援金
- 等

住・定住者(村民含む)



定住人口



定住・転入の促進

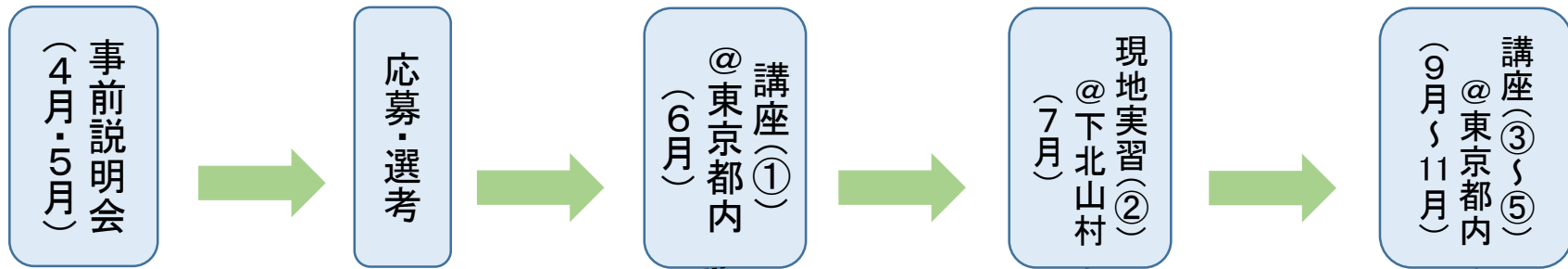
(関係人口創出・拡大への取り組み)

- ◆奈良・下北山むらコトアカデミー
- ◆「下北山コワーキングスペースBIYORI (びより)」の活用
- ◆森で育む学生拠点創造プロジェクト
(総務省「関係人口創出・拡大事業」)

奈良・下北山むらコトアカデミー



都市圏在住の地域づくり関心層に対し、下北山村の現状を学ぶ講座、グループワークや現地実習を行い、地域の可能性や、受講生一人ひとりと村とのつながり方を見つけ、「むらコトプラン」を作成する。



- ・村の地域資源と課題を知る
- ・現地実習プランを作る

- ・現地実習プランの実施

- ・「むらコトプラン」の検討・発表

アカデミー受講生の内訳



		H28 (1期)			H29 (2期)			H30 (3期)			H31/R1 (4期)			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
職業別	学生	2	0	2	1	0	1	0	2	2	1	0	1	4	2	6
	会社員	2	4	6	1	4	5	2	4	6	4	0	4	9	12	21
	自営業	1	0	1	2	1	3	0	0	0	1	0	1	4	1	5
	その他	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	3	3
	計	5	4	9	4	5	9	2	8	10	6	1	7	17	18	35
年代別	10代	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
	20代	2	4	6	2	0	2	0	2	2	2	0	2	6	6	12
	30代	2	0	2	0	4	4	1	5	6	1	1	2	4	10	14
	40代	0	0	0	1	1	2	1	0	1	2	0	2	4	1	5
	50以上	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	3	0	3

※ すでにアカデミー受講生のうち1名移住（令和元年9月現在）

下北山コワーキングスペースBIYORI

○2017年7月、奈良県と下北山村が、村内の遊休施設をリノベーションしたサテライトオフィス施設を開設。

○コワーキングスペースに加え、サテライトオフィスを開設することができる個室スペースを整備。

○いろいろな人が掛け合わされる交流イベントの場としても活用でき、また訪れた「人」と「地域」をつなぐ場としての役割を担う「**関係案内所**」としての機能も持つ。



SHIMOKITAYAMA
COWORKING SPACE
BIYORI

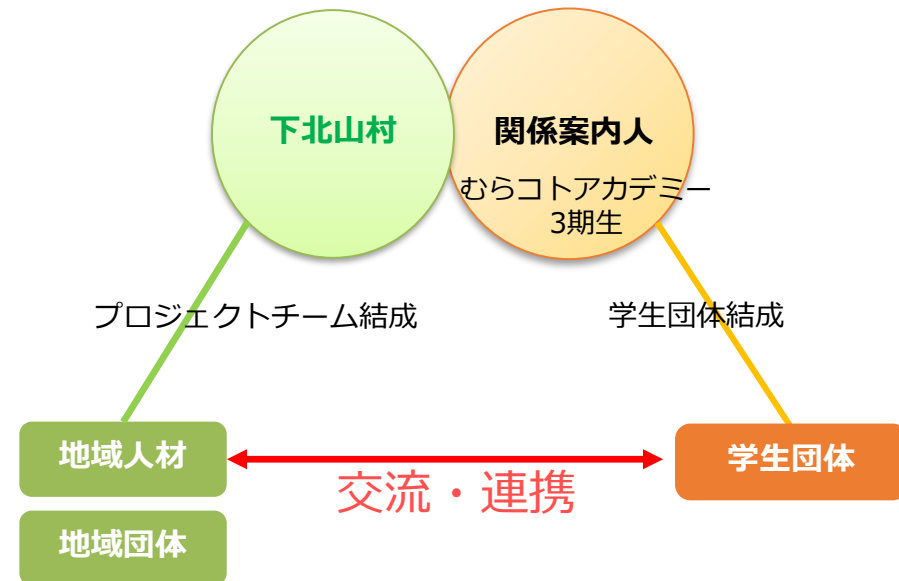
←むらコトアカデミー1期
生が考案したBIYORIロゴ
マーク

↑ものづくりBIYORIの様子
(2018.11.4)。村内外の人の
交流、掛けあわせの場に。

森で育む学生拠点創造プロジェクト

○むらコトアカデミー 3期生のプランがきっかけで始まった、村内の空き家を活用した学生拠点の場づくりを実施。

○関西圏、関東圏から様々な学部の学生が集まり、学生たちによる関係人口の輪を広げる。



↑DIY改修予定の空き家 ↓多様な学部の学生が集まり、様々な意見交換をしながら、思いを設計していく。

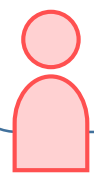


←材料となる木を知り、村の林業を学ぶ。



関係人口施策がもたらす効果

**奈良・下北山
むらコトアカデミー**



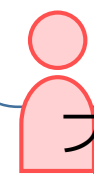
受講生（都市在住の地域づくり関心層）



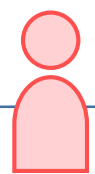
下北山村との関わり
りプランの実現

○新たな地域づくり
の担い手創出

BIYORI



フリーランス等
（コワーキング利用者）



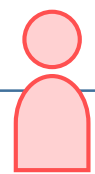
事業者



将来的な移住・
起業

○地域ならではの新
しいビジネス・働き
方の創出

**森で育む学生拠点創造
プロジェクト**



学生等



村民との継続的
な交流・地域政
策の学びの場

ご清聴誠にありがとうございました

池原橋を流れる北山川